

「際」「際に」「際は」完全マスター



N3～N2向け：言葉の設計図（ブループリント）で使い分けを視覚的に理解する
N3～N2向け：言葉の設計図（ブループリント）で使い分けを視覚的に理解する

コアコンセプト：「際」はフォーマルな「時」



Formality Slider

Casual

Formal

「時（とき）」を使う

- 日常会話（例：友達と話す時）

「際（さい）」を使う

-  アナウンス（電車、バス、飛行機）
-  ビジネスシーン（顧客対応、メール）
-  スピーチや説明書

接続の公式（グラマー・ブロック）

V 辞書形

+

際

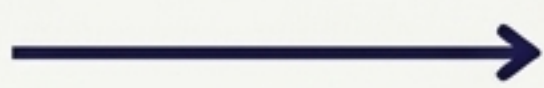


乗る際 (When boarding)

V た形

+

際



訪れた際 (When I visited)

名詞 (N)

+

の

+

際



地震の際 (In the event of an earthquake)



名詞は「手続き」「外出」「利用」など、動詞のグループ3（～する）の語幹がよく使われます。

注意点！「長い期間」には使えません

長い期間・状態



✗ 子供の際 (When I was a child)
→ 「子供の時」が正解

✗ 学生の際 (When I was a student)

特定の出来事・瞬間 ✓



特定の出来事・瞬間

✓ 降りる際 (When getting off)

✓ 帰国した際 (When returning to one's country)

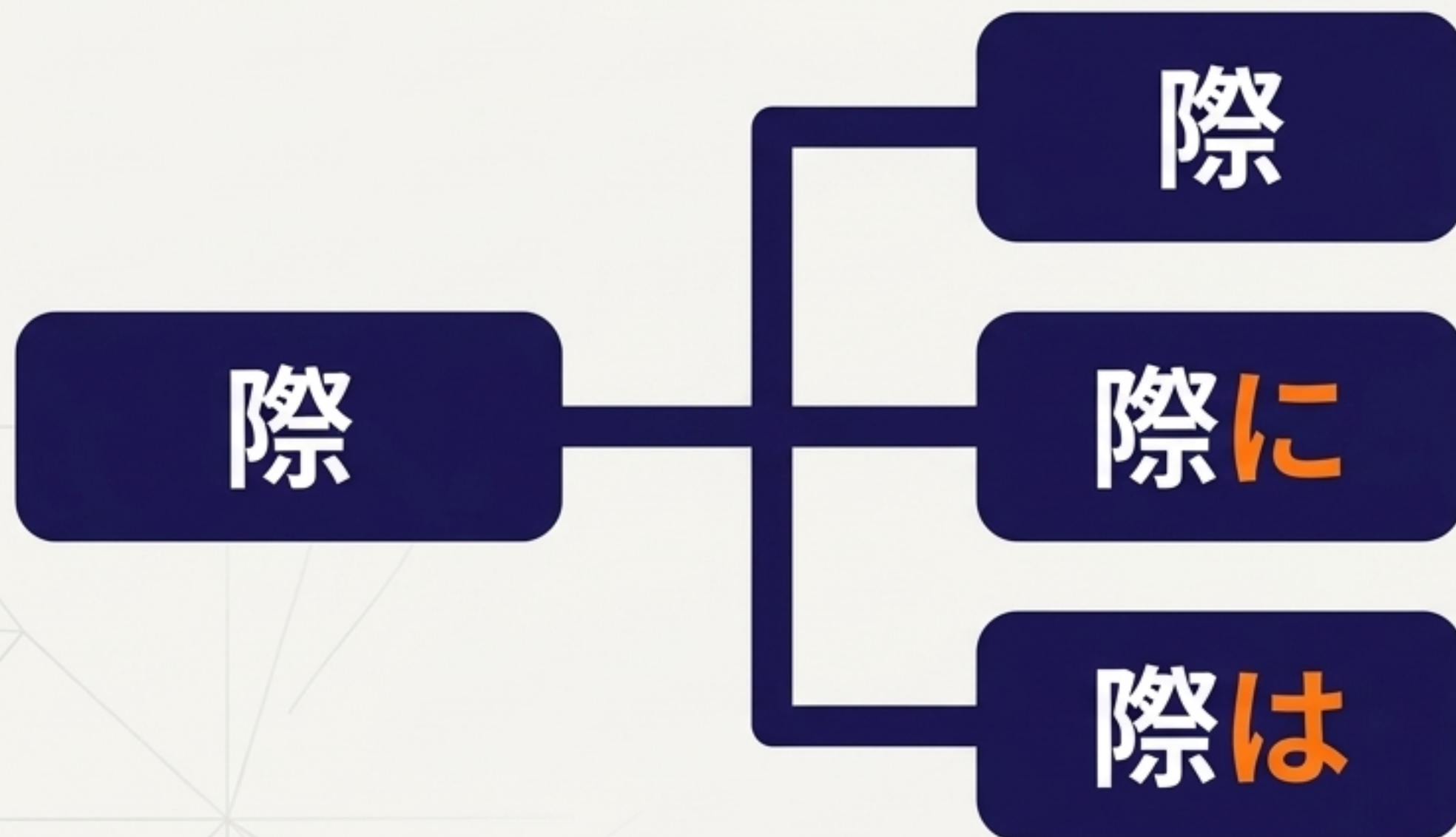
比較マトリックス：「際」 vs 「時」 vs 「場合」

特徴	時（とき）	場合（ばあい）	際（さい）
フォーマル度	日常・汎用的	条件・仮定	非常にフォーマル
長い期間（子供～等）	✅ 使える	❌ 使えない	❌ 使えない
過去の事実 （例：京都に行った～）	✅ 使える	❌ 使えない	✅ 使える



「場合」は**未来の仮定**や条件（例：雨が降った**場合**）に使われるため、すでに起きた**過去の事実**には使えません！

助詞による3つの分岐ルート



基本形（フォーマルな「時」）



「時間点」の強調
（特定の瞬間にフォーカス）



「状況」のトピック化
（その状況を取り上げて指示を出す）

次ページから、それぞれの機能を解剖します。

「際に」の解剖：時間点へのフォーカス 📍

機能: 助詞「に」は、動作が発生する特定の時間（ポイント）を強く指し示します。

構成:



例文:

- 東京を訪れた**際に**、大学の友達に会った。
(When I visited Tokyo, I met a college friend.)
- 日本に来た**際に**、文化を学んだ。
(When I came to Japan, I learned the culture.)



「際は」の解剖：状況のトピック化 🔦

機能: 助詞「は」は、その状況をメインテーマ（主題）として取り上げ、「その状況では～してください」と区別します。

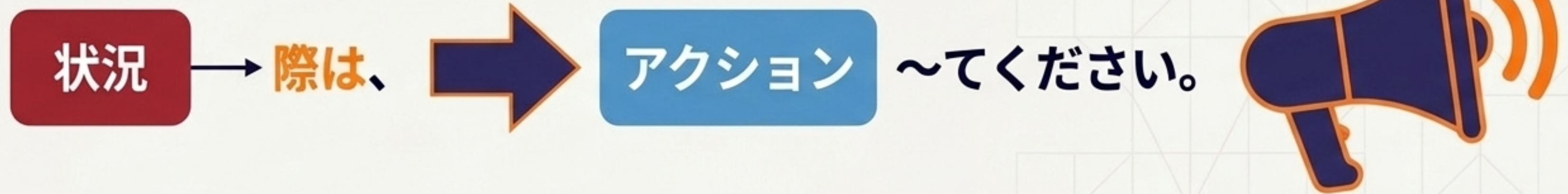
[特定の状況] + [際は] + [指示・ルール]

例文:

- 地震の**際は**、走らないで外に出てください。
(In the event of an earthquake, do not run and go)
- カードを紛失した**際は**、ご連絡ください。
(If you lose your card, please contact us.)

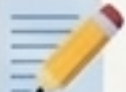


鉄板パターン①：「際は」＋指示・お願い



解説: アナウンスや説明書で最もよく聞く形です。
後ろには必ず指示やお願いが続きます。

よくあるフレーズ:

-  降りる際は、足元にご注意ください。
-  ご利用の際は、会員証をご提示ください。
-  記入の際は、黒のペンをお使いください。

鉄板パターン②：「**際に**」 + 過去の出来事



解説: 過去の特定の出来事を振り返り、その時に何が起きたか（何をしたか）を語るパターンです。

よくあるフレーズ:

📷 台湾を旅行した**際に**、撮った写真です。

🤝 首相が去年いらっしゃった**際に**、いただいた物です。

📦 物を拾おうとした**際に**、腰を痛めた。

ビジネスのキラーフレーズ：「お手すきの際に」

【クッション言葉】

お手すきの際に

+

【お願い】

ご確認ください。

意味:

「手が空いている時に（時間ができた時に）」の非常に丁寧な表現。

使い方:

上司や顧客にメールを送る時、相手にプレッシャーを与えずに依頼する最強のフレーズです。

- ・お手すきの際に、ご返信いただけますと幸いです。
- ・お手すきの際に、資料に目を通しておいてください。

慣用表現：「この際」のコアミーティング

「この際」= 単なる「この時」ではありません！



この際 (Kono sai)

意味：「これを良い機会として」「思い切って」

何か特別な出来事をきっかけに、大きな決断をしたり、
これまで言えなかったことを思い切って行動に移す時に使います。

💡 ターニングポイントを表すドラマチックな表現です。（※「この時」には言い換えられません）

「この際」のシナリオ（思い切った決断）

シナリオA：秘密の暴露

状況：ずっと我慢していたが、大喧嘩になった。

決断：「**この際**だから、はっきり言わせてもらいます！」

(Since we're at this point, I'm going to tell you exactly how I feel!)

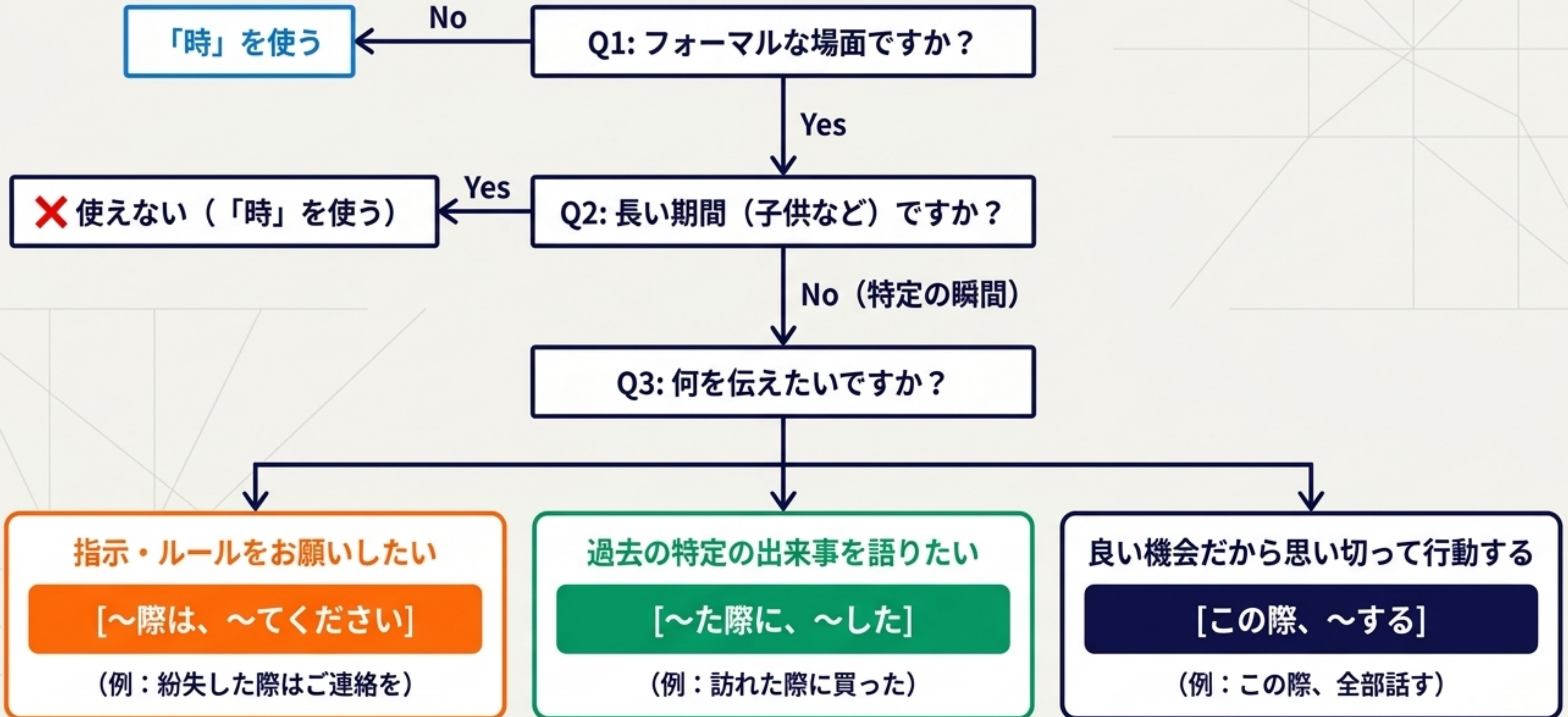
シナリオB：習慣の断ち切り

状況：タバコの値段がまた上がった。
タバコの値段が

決断：「**この際**、タバコをやめることにするよ。」

(Taking this opportunity, I might as well quit smoking.)

究極のチートシート（全体統合フロー）



言葉の解像度が上がりましたね！



「際」の使い分けは、日本語のフォーマルさを自在にコントロールするための強力なツールです。
次にビジネスメールを書く時や、日本の駅でアナウンスを聞く時、この「言葉の設計図」をきっと思い出すはずです。



リファレンスとして、ぜひこのスライドを保存・シェアしてください。